

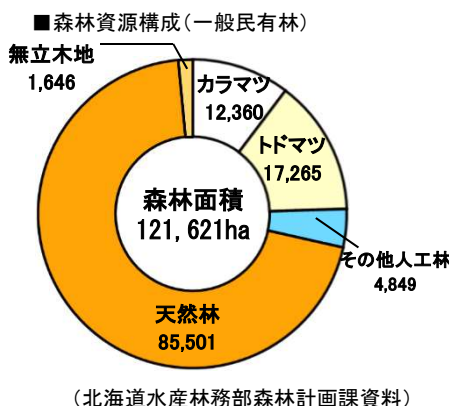
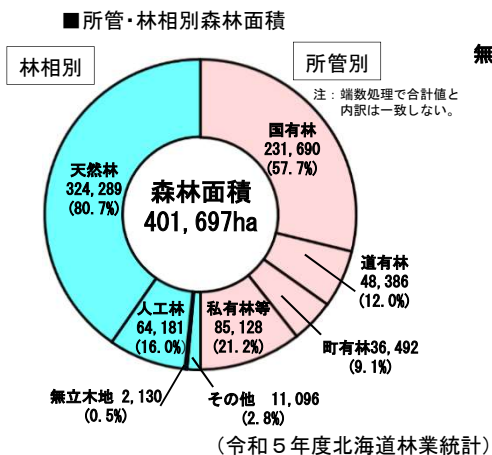
林業

管内には40万2千ヘクタール森林があり、全道の森林面積の約7%を占めています。管内の総土地面積に占める森林の割合は約84%で、これは14総合振興局・振興局の中で最も高く、更に、広葉樹の蓄積量が全道の約10%を占めるなど、豊富な森林資源を有しています。

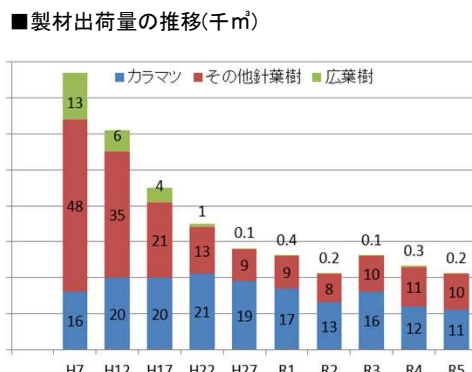
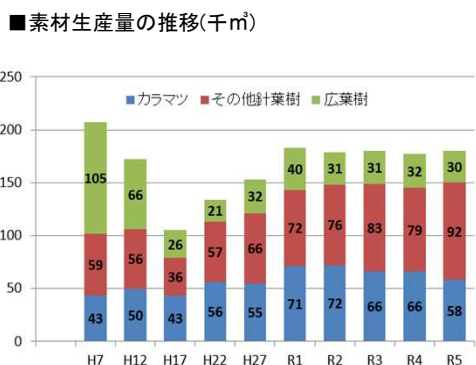
また、戦後に植林されたカラマツやトドマツの人工林が利用期を迎えており、管内の人工林から生産された材を管内の公共施設や町営住宅の建築部材として利用する「地材地消」の取組や、森林整備の過程で発生した林地未利用材等を木質バイオマス発電や暖房用燃料として供給、利用する施設の整備、木材チップ原料として集荷された広葉樹の丸太から「製材原版」を製作・販売する取組が行われるなど、地域資源の循環利用及び有効活用が進められています。



高性能林業機械(ハーベスタ)による玉切り作業
【平取町】



道産木材をふんだんに利用した保育施設
【浦河町】



■林産関係事業体数の推移

年度	H7	H12	H17	H22	H27	R1	R2	R3	R4	R5
製材	18	12	10	5	5	5	5	5	5	5
山背	7	5	3	3	3	2	2	2	2	2
チップ	18	16	11	5	5	4	4	4	4	4
バイオマス	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1
合単板	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0
パット	3	3	3	1	0	0	0	0	0	0
集成材	4	3	1	1	0	0	0	0	0	0
木取加工	4	1	0	0	1	1	1	1	1	1
木炭	6	5	4	2	0	0	0	0	0	0
防腐	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1
プレカット	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1
その他	8	4	3	3	2	2	2	2	2	2
合計	76	54	40	25	21	18	17	17	17	17

(林務課調)

「森のがっこう」での地域活動への支援

浦河町にある「フレンド森のがっこう」(以下、がっこう)は、独自の教育理念に基づき裏山の「かしの森」をフィールドにして、自然に親しんだり馬を飼育して触れ合うなど、森と深く関わる活動をしています。

日高振興局は、林業グループなどの研修の場や森林学習の講師を務めるなど「がっこう」と交流があり、その縁で地元の「浦河まきば林業グループ」とのマッチングを行いました。

ぬかるみで困っていた「がっこう」の敷地に子ども達と一緒にウッドチップを敷いたことにより、窪みに水がたまってぬかるむこともなくなりました。教室として使っている温室や園庭、馬小屋に柔らかいチップを敷いたので、子ども達は温室で寝転んだり、すくったりして木の香りや感触を楽しんでいました。



温室で寝転ぶ子供たち

水産業

管内は、167kmの海岸線を有し、親潮と黒潮のぶつかり合う好漁場に恵まれ、沿岸漁業を主体に漁業が行われています。

令和5年の管内の生産額99.8億円のうち、コンブの36.0億円(36.1%)が全体の3分の1以上を占める主要魚種として位置づけられています。

また、コンブは、全道生産額の18.1%を占め、全道的にも特産魚種として漁獲されてきました。

近年は令和3年9月に道東太平洋地域で発生した赤潮の影響により、ツブなどの漁獲が大きく減少したことから、資源の早期回復に向けた取組が進められています。

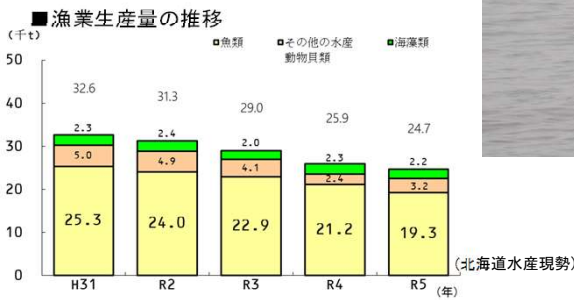
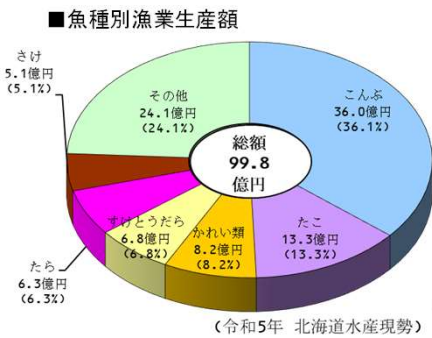


コンブ干し風景(浦河町)

ひだかの産業



コンブ漁業風景(浦河町)



■全道に占める管内漁業の地位

単位：漁業生産量 (t)、漁業生産額 (百万円)

区分	管内	全道	全道比 (%)					
			10%	20%	30%	40%	50%	
こんぶ	漁業生産量	2,196	12,118	18.1				
	漁業生産額	3,597	20,525	17.5				
さけ	漁業生産量	505	58,369	0.9				
	漁業生産額	514	38,861	1.3				
ぶり	漁業生産量	1,032	13,886	7.4				
	漁業生産額	253	3,783	6.7				
たこ	漁業生産量	1,273	14,162	9.0				
	漁業生産額	1,327	14,601	9.1				
なかれい類	漁業生産量	2,784	17,608	15.8				
	漁業生産額	821	4,280	19.2				
すけとうだら	漁業生産量	9,048	111,407	8.1				
	漁業生産額	677	8,504	8.0				
つぶ類	漁業生産量	732	5,903	12.4				
	漁業生産額	156	2,124	7.3				
さば	漁業生産量	1,840	18,238	10.1				
	漁業生産額	277	1,490	18.6				
その他	漁業生産量	5,352	883,224	0.6				
	漁業生産額	2,361	197,443	1.2				
合計	漁業生産量	24,762	1,134,915	2.2				
	漁業生産額	9,983	291,611	3.4				
動力漁船数(隻)		1,585	21,713	7.3				

・漁業生産量はR5年北海道水産現勢
・船舶数はR5年漁船統計



マツカワの放流(えりも町)

育てる漁業

管内では、サケ・マスのふ化放流や、ウニの種苗生産・放流などにより、育てる漁業に取り組んできましたが、近年は、ハタハタや、マツカワ(王鰈(おうちょう))といった高級魚の増殖にも取り組んでいます。

特に、マツカワについては、平成18年から北海道栽培漁業拠点センター(伊達市、えりも町)の供用が開始され、平成20年からは、えりも町から函館市旧南茅部町までのえりも以西太平洋海域で毎年、100万尾の種苗放流を行い、150トンの資源造成を図る計画となっており、このうち日高管内では40万尾を放流する計画となっております。

また、放流後の稚魚の保護・育成を目的とした「全長35センチ未満のマツカワの海中還元」を内容とした海区漁業調整委員会指示も発動され、漁業者、遊漁者等が資源管理に取り組んでいます。